

事業報告概要書（公表版）					公表様式
1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
多摩丘陵グループ		（指定管理者名）公益財団法人 東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。			
指定期間					
R5.4.1 ～ R10.3.31（5年間）					
2 施設名					
長沼公園、平山城址公園、小山田緑地、小山内裏公園、桜ヶ丘公園					
3 管理運営の概要					
○令和5年度は新規指定管理初年度として、安全安心を第一に各公園の管理・維持に努めつつ、地域連携の強化や新規事業の展開等の様々な取組を推進した。 ○地域内他施設等との新規連携により、都市公園制度制定150周年事業の取組や丘陵地公園の魅力の発信を推進した（主な連携先：町田市薬師池公園、多摩市多摩中央公園、多摩市中央図書館、京王電鉄、明治大学等）。 ○里山情報連絡会を外部参加団体やボランティアと共に2回開催した。第1回のこのらの丘（桜ヶ丘公園内）現地視察では、萌芽更新とナラ枯れ防除効果について成果を共有し、第2回は里山に関わる専門家を招いての講演や各公園の丘陵地レンジャーの取組・成果を紹介し意見交換を行い、里山環境の歴史や保全の必要性をあらためて考える機会を提供した。あわせて各公園の貴重な自然環境と魅力を参加団体や関係者に向けてPRした。 ○多摩大学・京王観光株式会社・多摩市・稲城市・八王子市・日野市・町田市から構成されるタマリズムプロジェクトに参加、シンポジウムのパネリストとして協力したほか、ドラフト会議にて次年度以降の協働を見据えた学生3団体とのつながりが生まれ、多摩地域のマイクロツーリズムの取組が前進した。 ○コロナ禍により中止となっていた各種事業を、関係者との綿密な協議の上4年ぶりに再開（収穫祭（小山田緑地）、どんど焼き（小山内裏）、さくらまつり・音楽の集い（桜ヶ丘））したほか、新たな連携先と手を組み、新規イベントを展開した（ぼまるのおうち・美術ひろばタネノス・玉川大学：アートワークショップ、多摩市中央図書館：おはなし会）。また、パークミーティング初開催（小山内裏公園）のほか、次年度以降の連携も見据えた近隣関係者とのパートナーシップも強化した（きのこ同好会：キノコ観察会（長沼・桜ヶ丘）、宮嶽谷戸保全管理市民協議会・里山農業クラブ・由木里山保全チーム、八王子市環境市民会議の会員や学生ボランティア：由木地区里山保全地域における活動（平山城址）、多摩レクリエーション協議会準備会・連光寺児童館：地域イベント（桜ヶ丘））。					
4 管理状況（維持管理）					
○GISを活用し、ナラ枯れ等危険樹木の状況把握・作業優先度設定と伐採、住民要望に対する正確な記録分析と施工計画策定、東京都からの調査等に対応した（長沼・平山城址・桜ヶ丘）。 ○竹林整備作業の発生材を各種事業で活用した（町田市薬師池公園びっちより祭り水鉄砲コーナー、連光寺小学校炭焼き体験、サクラ苗木根本保護、ミニ門松作り、土砂流出防止そだ柵等）（長沼・平山城址・桜ヶ丘）。 ○年間を通じてボランティアと協働で、希少種の生息環境整備やモニタリング調査等を実施した（長沼・平山城址・桜ヶ丘）。 ○トイレのイメージアップ・利便性向上について誰でも手軽に参加できるシール型アンケートによる意見収集、ボランティア団体や園内活動で関わりのある大学生との意見交換を実施し、寄せられた意見を基に、トイレ設備の新設・充実を図り、共創によるリニューアルを行った（小山田緑地）。 ○台風による土砂災害時にも関係各所と連絡を取り合い、迅速に応急処置を行うことで園内の安全確保に務めた（小山田緑地）。 ○生物多様性の保全としてエコパッチ等の適切な管理により、希少種であるナンバンギセルが大幅に増えた（小山田緑地）。 ○サンクチュアリの環境改善を継続した結果、ゲンジホタルの最大発光数過去最多の69頭を記録し、初めての観察会も開催した（小山内裏）。 ○準絶滅危惧種のシオヤトンボの生息地を、丘陵地レンジャーとボランティア、地元小学生と保全し適正な草丈・照度・水深の管理により安定した発生地になるよう生息環境を整えた（小山内裏）。 ○小山内裏公園尾根緑道で剪定したシラカシの枝葉を多摩動物公園のゾウの給餌に利用した。また日常的に発生する雑木や花壇の花なども加工、乾燥等のひと手間を加えてクラフト材としてイベントなどで活用した（小山内裏）。 ○近隣の連光寺小学校の総合的な学習の時間内「里山体験活動授業」の一環として、丘陵地レンジャーが解説・指導を行い、タケノコ採取によるモウソウチクの竹林の間引き作業体験を支援した（桜ヶ丘）。 ○道路排水不良に起因する雨水流出による土砂崩れや年末の不審火による火災の発生に対して迅速に対応し、安全安心な環境を維持した（桜ヶ丘）。 ○視認性の低下していた車止め73箇所の塗装を更新し、夜間の安全性を確保した（桜ヶ丘）。 ○大学生インターンシップや近隣中学校との協働で、宇宙桜やヤマザクラの保護を行った（桜ヶ丘）。					
5 利用者アンケート結果					
実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート					
施設名	照合 満足度	植栽 管理	施設の 清潔さ	安全 ・安心	職員の 対応
長沼公園	4.8	4.5	4.6	4.4	4.7
平山城址公園	4.7	4.5	4.5	4.6	4.6
小山田緑地	4.8	4.9	4.7	4.9	4.9
小山内裏公園	4.9	4.8	4.7	4.8	4.8
桜ヶ丘公園	4.8	4.7	4.5	4.7	4.7
6 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
長沼公園	50,131	地元住民からの要望や東京都工事との調整を丁寧・適切に行い、安心安全な公園環境を維持した。			
平山城址公園	20,367	ボランティアとの協働により保全した希少種や自然環境を、イベントや外部の調査研究のフィールドとして活用した。			
小山田緑地	486,461	共創によるセンター前トイレリニューアル、収穫祭やマルシェ、バラスポーツへの取組等で誰もが快適に公園を楽しめる環境作りに努めた。			
小山内裏公園	712,692	どんど焼きの有観客開催やパークミーティングの初開催など地域やボランティアとの連携を深め、広げる取組により公園の利用価値を高めた。			
桜ヶ丘公園	260,968	既存の枠にとらわれない協働先を開拓し、新規イベントでの連携を深めるとともに、公園からの情報発信に努めた。			
合計	1,530,619				



長沼公園

所在地：八王子市長沼町・下柚木・堀之内
開園面積：36.79ha

多摩丘陵をつなぐ裏山
変化に富んだ自然環境



多摩丘陵公園キャラクター
たまきよりゅう



樹木と森について知ろう！ キッズレンジャー体験

NEW!



多摩丘陵の自然を学びながら保全活動を体験するイベントを初開催。丘陵地レンジャーが健康な樹木とそうでない樹木の違いを解説し、樹木点検手順に従って外観や打診音で実際に確認すると、健康状態による音の違いに驚きの声。森の循環、環境保全のために丘陵地レンジャーが努力している活動を学び、以前とは違った視点で自然を見ることができるようになったと、未来の里山環境保全の担い手として期待大！



気になった植物や葉は図鑑で調査

本当だ、音が違う！



関係機関との連携による丘陵地公園の魅力発信

NEW!



発生材を活用したクラフト教室
町田薬師池公園びっちょりまつりへの協力出展

町田市観光コンベンション協会主催のイベントにブース初出展し、発生材を活用した竹の水鉄砲コーナーと多摩丘陵・自然公園紹介コーナーを運営。70人が参加し、外国からのお客様も含め、親子そろって夏の遊びを心行くまで満喫！ 都立公園の取組や魅力を他の公園ユーザーにも広くアピールする絶好の機会に。



大学生向けSNSの情報発信

「第2回京王線スポット総選挙」

京王電鉄と明治大学の学生協働による、大学生を主な対象とした沿線施設に足を運んでいただく沿線人流創出事業「第2回京王線スポット総選挙」に初参加。

SNSユーザー層に狙いを絞った媒体利用で、これまで長沼公園を知らなかった若者にも、公園のみどころや魅力を積極的にPR！



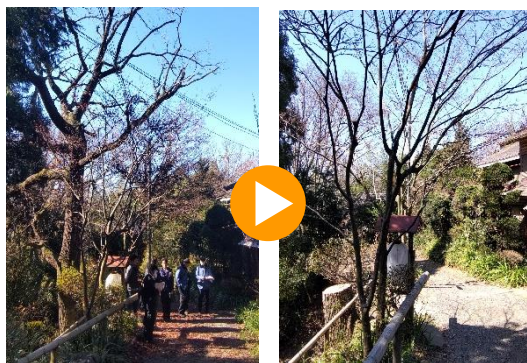


地元住民の声に粘り強く真摯に応えた対応



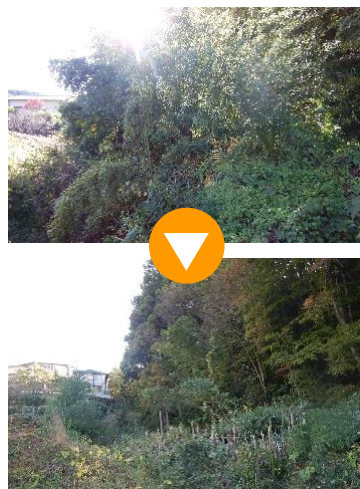
隣接店舗敷地内危険木への対応

野猿の尾根道の一部に土地を所有する店舗からの個人所有危険樹木の伐採要望について、約1年間に渡り粘り強く対応。10月には野猿の尾根道を所管する八王子市も交えた現地立会を実施。処理方法について西部公園緑地事務所とも適宜情報共有しながら対応。対応できる施工会社を紹介することで、問題解決につなげた。



隣接民地への竹林越境解消

公園に隣接する畑所有者からの毎年越境進入するマダケの処理要望について、複数年かけての根絶を目指した作業計画を策定・説明し、その初回となる約120㎡の伐採を直営で実施。これまでの一時的な対応から、根本的な解決に向けて動き出したと感謝の声。



草刈時期の適切な調整

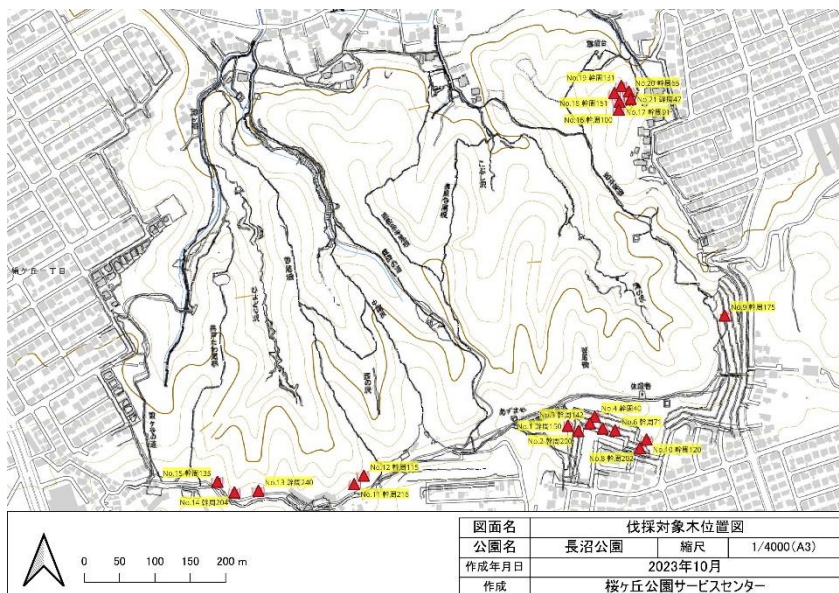
年間草刈委託の実施時期を近隣町会と調整したうえで、現地状況に合わせて見直すとともに、草の成長が早い時期に直営での追加作業約350㎡を実施。美観の改善と電線に絡む等の影響除去に、近隣住民から感謝の声。



GISを活用した維持管理範囲の明確化・効率化



- ・カタクリ保護区への影響が懸念される竹の伐採要望について、GISを用いて園地図・公図・保安林図と統合し、適正な保安林の伐採申請を行うとともに、施工による希少種の損傷等を回避し、保護区への影響を最小化。
- ・以前から公園地・八王子市管理地・民地の境界が曖昧な部分について、管理責任の所在を明らかにし、対応すべき範囲へのリソース投入を集中・効率化。住民要望に対しても丁寧かつ正確な情報を提供可能に！
- ・位置情報を基にナラ枯れ木の状態に応じた処理優先度を設定。限られた予算で効率よく安全環境を維持。



伐採が必要な危険木や要望をGISで管理し委託時に活用



平山城址公園

所在地：八王子市堀之内／開園面積：12.001358ha

歴史ある丘陵地公園 豊かな緑と水



多摩丘陵公園キャラクター
たまきようりゅう

樹木と森について知ろう！ キッズレンジャー体験

NEW!



多摩丘陵の自然を学びながら保全活動を体験するイベントを**初開催**。参加者の年齢に合わせた、見る、聴く、触る、嗅ぐといった**五感に訴える体験が親子そろって大好評**。丘陵地レンジャーが、森の循環、環境保全のために努力している活動について、**子どもならではの視点で学ぶ姿は、まさに未来の丘陵地レンジャー**！



視



聴



触



嗅

近隣大学と連携強化！長沼公園とつながるガイドウォークの実施



都市公園制度制定
150周年事業

学生の研究内容を体感！フィールドミュージアム見学

「秋の長沼・平山城址公園を歩こう」での東京農工大学「フィールドミュージアム多摩丘陵」特別見学は、**学生の研究活動を実際に見学できるよう初めて平日に開催**。これにより、学生から通常知ることのできない地形や自然資源を活用した研究内容について**詳細な解説を直接聞く機会を提供**。継続的な連携から、敷地内を歩くことだけでなく参加者の知的好奇心を満たす効果が得られた。



丘陵地レンジャーからは
園内の活動を紹介！

新たな協働による生物多様性保全の取組検討

NEW!



平山城址公園東園から続く宮嶽谷戸にて行われた、里山保全活動と親子里山体験講座でのイベント協力をきっかけに、隣接する八王子堀之内里山保全地域と堀之内寺沢里山公園等を含む**多摩丘陵（由木地区）において、公園・八王子市・保全活動を担うボランティアの三者による今後の協働について新たに検討を開始**。

将来的に広域連携での丘陵地・里山の環境保全や情報発信、イベント実施等を見据えたパートナーシップが誕生！





役立つ情報はみんなで活用！ キンラン保護ノウハウの提供



第四建設事務所補修課街路樹担当からの依頼により、**キンラン自生地の現地視察案内を実施**。

板橋区内の環状八号線沿いで発見された自生地の保護方針を検討するにあたり、公園との環境の違いと今後の創出目標とする環境等についてヒアリングを受け、その目標環境に必要な維持管理作業と保全手法について、**これまで公園が培ってきた経験等から適切な情報を提供**。

多摩丘陵で培われたキンラン保護に関するノウハウを環状八号線におけるキンラン自生地の保護方針作成検討に役立ててもらったほか、第35回「建設局技術業務体験発表会」における発表「キンラン・ギンラン見学会開催について」で紹介していただいた。



関係者調整やデータ活用による危険木の適切・効率的な管理



ナラ枯れ被害木を中心に、現在の樹木の状態や位置をGISで記録し、日常作業における危険除去作業に活用したほか、将来的に倒木・幹折れ・落枝の危険が高いものを抽出。来園者への影響度合いに応じた作業優先度の設定により、効率よく予算を投入。年間201本の処理を完了し、安全安心な公園環境を維持。

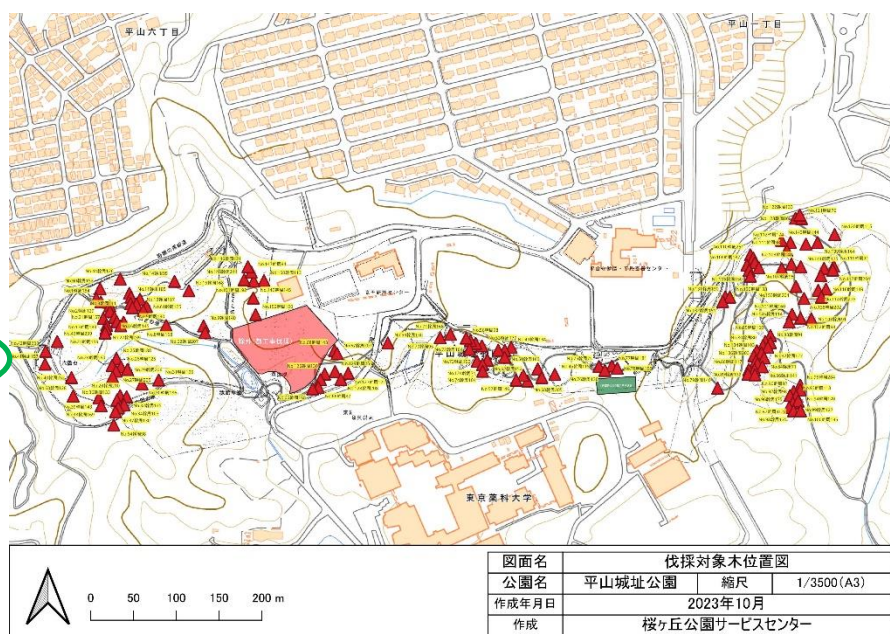
生物多様性保全整備工事（都事業）業者との打合せ・調整結果を**GISデータに反映し、施工範囲重複の無駄を除外**。

また、都・協会双方の工程表を照合・調整し、**作業エリア接近に起因する事故発生を未然に回避**。

東京薬科大学の駐車場と隣接する区画では、大学側と調整し、**支障枝の剪定や伐採は大学関係者への影響が少なくなる休講時期に実施**。施工の都合上大学構内の通行が必要な際は、早期調整により円滑な施工を実施。



優先度の高いナラ枯れ木を伐採





小山田緑地

所在地：町田市／開園面積：44.43ha

地域の様々な世代の交流の場 丘陵地をつなぐ公園



多摩丘陵公園キャラクター
たまきようりゅう

トイレone up! プロジェクト

NEW!

3 すぐそばに
トイレを
設置

6 多摩丘陵公園
トイレを
整備

来園者や地域みんなの声を集めてトイレを改修

多摩丘陵を走るランナーやサイクリストの休憩ポイントとしての利用もあるサービスセンター前トイレをリニューアル！

トイレのイメージアップ・利便性向上について誰でも手軽に参加できるシール型アンケートによる意見収集やボランティア団体や園内活動に関わりのある大学生との意見交換を実施。

寄せられた意見を基に、**トイレ設備の新設・充実を展開。**

荷物置きたい！

女性専用があると
安心！

ペット用リード
ホルダー欲しい！

トイレ内が殺風景で
寂しい！

無機質だった外壁が公園のシンボルに！

アンケートや窓口に寄せられた声を受け、**視認性向上**や**分園を含む園内情報発信**の効果を狙い、**イラスト化された公園マップをトイレ外壁へ新設**。地図には子どもでも楽しめるよう「たまきようりゅう」が登場！「とてもきれい」「明るくなった」「園内にこんな場所もあったんだ」等の声が多数。リニューアル後は立ち止まって眺めたり、写真を撮る来園者の姿をよく見かけることから、**トイレの認知度向上に加え、公園の魅力発信の効果、シンボルとしての定着を実感。**

地図の表記は、日本語・英語二か国語を記載し、外国からの来園者にも対応。



地図かわいい！

小山田緑市 -りょくいち-

NEW!

15 緑のまちづくり
条例

17 パートナーシップ
推進

地域いこいのマルシェを初開催

地元農家のボランティア団体「里山倶楽部」や地域住民とマルシェを**初開催**。初回は人気のある収穫祭と同時開催にして、多くの方に地域特産品を紹介・購入していただく機会としてマルシェをPR。**野菜販売は予定数が1時間で売り切れてしまうほどの大好評**。野菜は追加補充を行い、収穫祭終了まで来園者に楽しんでもらった。さらに、小山田緑地の田んぼでとれた稲わらのお飾りや発生材の竹を使った竹炭等の販売も行い、里山の暮らしを感じていただく機会を提供することに成功。

今年度は2回開催。**多くの近隣住民の方が参加し、新たな地域交流の場に。**

参加者数 457人！





パラスポーツ入門

NEW!



ボッチャを通じて参加者同士の交流機会を創出

ボッチャの現役選手を講師に迎え初心者向けの体験会を**初開催**。参加者の16人のうち12人がWEB経由の申込みを利用。参加者の中には江東区からの応募もあり**DX活用**の効果を**確認**。**魅力的なイベントの提供が、遠方からの来園動機になることを実感**。

サービスセンター横で開催することで、通りすがりの来園者からもボッチャについての質問が寄せられるなど、参加者以外へのパラスポーツの普及啓発につながった。

「現役の選手から詳しいルールや実際の試合中の流れを知ることができてよかった」、「またいろいろなイベントに参加したいのでWEBでの情報発信を続けて欲しい」との声が集まり、**イベント終了後も参加者同士で試合を続け、盛り上がる様子もあるなど、パラスポーツを通しての交流の機会創出に貢献**。



現役選手からの説明がわかりやすくてうれしい！

参加者に配布したボッチャ仕様の缶バッジも大好評！

あやだりよくち

レンジャー業務 生物多様性の保全



エコパッチとナンバンギセルの保全

希少種の保全活動の象徴としての役割も持つエコパッチ。**適切な手入れを行うことで、生物にとって良好な生育環境を創出し、あわせて景観を維持**。

エコパッチ内の植物で特に人気があり希少種であるナンバンギセルの株数は、**昨年度141株から今年度は496株と前年比351%に増加**。

丘陵地レンジャーによる「その場でガイド」や案内看板の設置により、**植物が見やすく説明も分かりやすかったと、来園者から大好評**。



その場でガイドは楽しい、わかりやすいありがとう！



エコパッチの再生



迅速な復旧対応で安全な園内環境を提供



土砂流出による緊急復旧作業

6月の大雨後に梅木窪分園内ツタン池付近で15㎡以上の土砂流出が発生。

迅速に立入禁止措置、来園者へ封鎖エリアの告知を実施。土砂流出箇所は都有地、市有地、民地が入り組む箇所、当初は詳細図面もない状態であったため、急ぎ関係各所へ連絡を取り境界確認の立会いを行うことで作業の範囲を確定。

また、現地は大型車両が入れない狭隘な谷戸奥のため、小型の重機と人力併用による土砂の撤去、大型土のう積立等の緊急措置を施工。応急処置後は**雨天時の重点巡回及び3週間にわたり定点で写真撮影**し現地の大きな変化がないか注視。状況を東京都に逐次報告し安全確認した上で開放。**更なる土砂流出の拡大を防止し、園路の崩落箇所を復旧することで、速やかに園内の安全を確保し、下流の生活用井戸、水路、田んぼなどへの被害抑制につなげることができた**。



6月7日土砂流出



6月21日緊急復旧作業完了
7月12日安全確認後開放



小山内裏公園

所在地：町田市、八王子市／開園面積：45.92ha

変化に富んだ自然環境と
人とのつながり



多摩丘陵公園キャラクター
たまきょうりゅう

本を通じ人と地域が結びつく



絵本の世界「アートワークショップ」

地域で活動するNPOとの連携イベント第2弾、

絵本の読み聞かせやダンボール遊びを行う造形ワークショップ「カラフルタウンを作ろう!」を開催。子どもから大人まで約130人の参加者で作るタウンは圧巻!参加者全員から、絵本の世界に入り込み親子で触れあう体験が素晴らしいと感激の声が!

本と触れ合う「さとやまブックファースト」

地元図書館や保育園等と連携し、自然環境の中で本に触れる子ども向けの読書イベントを開催。5月の「パークライブラリー」では草の上で本を読む体験を、1月には図書館司書による近隣保育園3園合同のお話し会を初実施。113人が参加し、職員が園内発生材で作ったカスタネットでの演奏会も大好評!



公園と地域の価値向上「パークミーティング」

NEW!



新たな地域連携や関係性の再構築に向けて

公園ボランティアや公園近隣の地域団体等、公園に携わる人たちと公園利用についての意見交換を行うパークミーティングを初開催。12団体と協会職員合わせて17人が参加し、「地域団体をもっと公園の活動に活用してほしい」等の意見もあり、具体的な協力支援の声も多数あがった。今後は来年度の「どんど焼き」を中心に、取組ごとの個別部会の開催などを設け、地域と連携した事業計画の実施を推進していくことで合意。





大切に育む地域のつながり「いきいき交流の集い」

都市公園制度制定
150周年事業

みんなが参加者「季節のコンサート」

毎月実施しているいきいき交流の集いのコンサートに加え、
四季のコンサートを年3回実施！出演者が季節に合わせた
演目や衣装、演出を工夫し、ダンスあり、手話ありで参加者
を楽しませ、**リピーターも多い人気のコンサートに**♪

無駄なく生まれ変わる自然素材

クリスマスコンサートでは、募金にご協力いただいた
方にクリスマスリースキットをプレゼント！
これらは日々の園地管理で発生する雑木や花壇の花など
をバックヤードで養生、乾燥させ**クラフト材として**
新規にキット化。お客様に大好評！

NEW!



毎月のコンサートと合わせて
延べ**1,185**人参加



おうちで作るの
楽しみです♪

子どもたちを保全の担い手に「キッズレンジャー体験」



未来へつなぐ里山環境作り

南大沢小学校の体験型課外学習では、丘陵地レン
ジャーとともにシオヤトンボの生息地の草刈り、内裏
池のかいぼり体験や水生生物調査も実施。**年間を通し
て生きものが暮らす多様な環境を理解し、公園や地域
に対する愛着を醸成。**



1年間の取組をまとめた
冊子をつくってくれました！

豊かな森作りへの第一歩

ナラ枯れによるコナラやクヌギの森の減少を受け、
次世代の森作りの準備として、南大沢小学校ではコ
ナラとクヌギの**ポット苗**を作製して学校で育苗。職
員が実生から育て上げたエノキも園内に移植し、**多
様な生物を育む土台作り**を体験。



維持管理における創意工夫や計画的な取組の成果

NEW!



公園資源の新たな活用

尾根緑道でのシラカシの発生材を活用し、多摩動物公
園の**アジアゾウやアフリカゾウの飼料として初めて提
供**。（公財）東京動物園協会の飼育担当と綿密な打ち
合わせを行い当取組が実現！**発生材の新たな有効活用
と処理費用の削減につなげる**ことができた。



環境に配慮しながら実施

初開催のホタル観察会をオオタカの営巣に配慮して
一般募集から普段から連携をしている小学校の生徒
と保護者限定に変更し実施。**過去最高の発光数を記
録**したことから、**丘陵地レンジャーによる計画的
な保全活動の努力が着実に成果となって現れた。**



初開催!



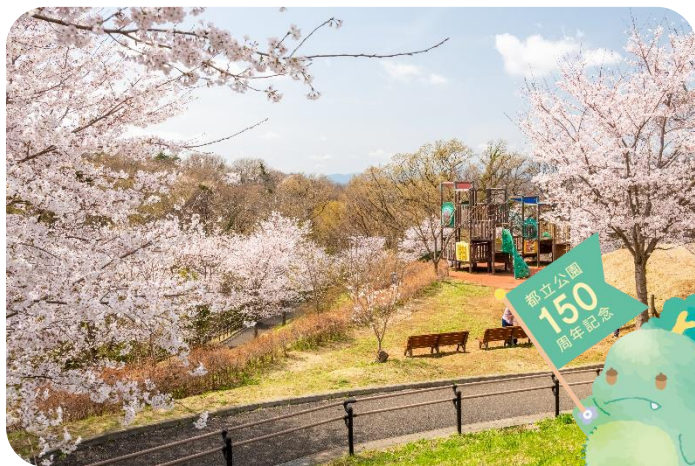
ホタルの光って
黄色なんだね!



桜ヶ丘公園

所在地：多摩市／開園面積：33.99ha

里山環境を活かして
地域に愛される丘陵地公園



多摩丘陵公園キャラクター
たまきょうりゅう

都立公園
150
周年記念



人の「つながり」が生み出す地域価値の向上！



「宇宙桜植樹10周年記念」

多摩桜ウォーク

多摩商工会議所との協働で4年ぶりに多摩桜ウォークを開催。50人が参加。園内に植栽されている牧野富太郎博士が発見・命名した「稚木の桜」や宇宙桜保全の取組解説に称賛の声！



青空の下でのびのび読書

ブックパーク

多摩市立中央図書館と初めて連携し、約150冊の本と司書の読み聞かせが楽しめる青空読書スペースを初実施。2回の実施で合計70人が参加。公園読書の魅力に親子で夢中に！



地域で育む子どもの可能性

特別支援学校との連携

都立多摩桜の丘学園知的障害教育部門小学部の全6学年117人に、丘陵地レンジャーによる環境教育アクティビティを提供。培ってきたノウハウや自然資源を活用し、児童の興味関心を誘引。



みんなの力で魅力あふれるイベント運営！



歴史・自然と奏でるハーモニー

音楽の集い

多摩市教育委員会との協働で地域密着型コンサートを4年ぶりに開催。多摩地域で活躍する音楽家による音楽と文化・自然との調和は、桜ヶ丘公園だからこそ味わえると拍手喝采。



たまきょうりゅうもお出迎え

都市公園制度制定
150周年事業

SATOYAMAアウトドアライフ×ぼまるのおうち連携企画

「里山の生き物になっちゃおう！」

近隣のアートギャラリーや玉川大学と協働で、ものづくり&からだあそびアートワークショップを初開催。学生もアシスタント参加するなど、新たな学びやアート活動フィールドとして丘陵地公園活用の可能性を開拓。丘陵地形や自然環境、発生材を活かしたアクティビティを通して「いつもの公園」が「特別な空間」に！



自然がいっぱい最高！





次代につなぐ地域の宝 ～多摩桜プロジェクト～



宇宙桜保護柵の更新

インターンシップの学生と協働で、宇宙桜の保護柵計4箇所を改良・更新し、機能性と美観を向上。地域に愛される桜の歴史を学び、職員と共に一生懸命取り組む姿には、地元住民からも激励の声が多数！



都市公園制度制定
150周年事業

地元中学生との記念植樹

地元中学校、多摩商工会議所と連携し、都市公園制度制定150周年を記念した「ヤマザクラ」の植樹と「宇宙桜」の種蒔きを実施。次世代を担う子どもたちにサクラの名所として保全の意義を継承。

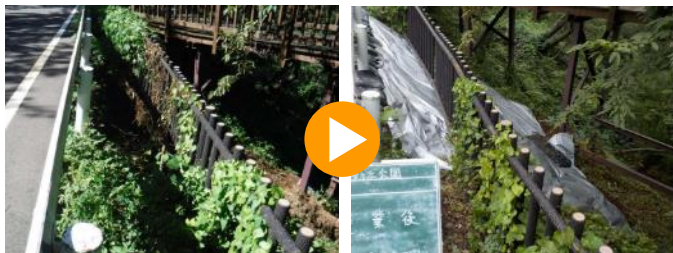


地域の安全安心のために ～災害と事故への迅速な対応～



記念館通り隣接斜面地土砂崩れの応急補修

被害発見から関係者現地立会、応急による補修までを12日間で迅速に対応。現地でのGPSによる標高測定等から、道路排水機能低下による雨水一極集中が原因と推定することができ、多摩市による排水機能改善工事実施の方向で調整が進展。



不審火への警戒

年末、不審火による火災の発生を受け、合計8カ所に即日注意看板を設置し、職員による夜間巡回を実施。年末年始の警備巡回強化の他、日頃からの連携体制に基づき、警察・消防の協力も得て、職員不在の時間帯もケア。地域住民が安心して過ごせる環境を維持。



「知っている」から「できる」防災へ 地域防災力の向上



都市公園制度制定
150周年事業

みんなで公園防災日和

3日間にわたり関東大震災100年普及啓発イベントを実施し、100人が参加。パネル展示やデジタルサイネージ動画配信により知識を習得するだけでなく、参加者一人一人が日頃からの備えについての気づきを得て実際の行動に移すきっかけに。



地域連携防災訓練

『知っているからできる防災へ』をテーマに地元自治会自主防災組織との訓練を開催。職員不在時の防災に備え、地域住民自ら園内の防災設備を使えるように！を目標に、防災トイレを保管場所から取り出して組み立てるまでを、職員の手を借りずに参加者自らが実施。



もう自分達だけでも
できます！

収支状況

3 収支(単位:千円)				
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	公園別支出額
項目	金額	金額	金額	
収入 計	403,329	348,353	357,880	長沼公園：18,586
内 指定管理料	403,329	348,353	357,880	平山城址公園：26,840
内 利用料金	0	0	0	小山田緑地：103,175
支出 計	402,496	328,101	352,218	小山内裏公園：113,017
収支差	833	20,252	5,662	桜ヶ丘公園：140,877